

今日も世界のどこかで頑張ってます!

海外で働く日本人美容師

>>> Japanese hairdressers working in overseas <<<

○生活環境や文化の異なる海外で活躍している日本人美容師さんは、どんな思いで美容の仕事に携わっているのでしょうか。海外を選んだきっかけや苦労話など、さまざまなエピソードを交えて現地での仕事ぶりをご紹介します。



Salon

Urban Roots

Name

木曾清美

Location

Shanghai

Answer

A1 祖父母が米国に住んでいるため、昔から海外で暮らすことは頭にあったのですが、最初のきっかけは、知人にニューヨークに行ってみないかと誘われたことです。元々、「人と違うことをしてみたい」、「女でも仕事をバリバリしたい」と思っていました。ニューヨークから帰国後、東京で働き、それからシンガポールでも働いていました。その後、上海が海外における日本人の人口世界一の都市になり、さらに外国人の来海も増加していたこともあり、市場の大きさと、これからの発展性を見込んで、2005年に出店。

A2 英語もそうですが、私は語学学校というものに行ったことがなく、現地生活の中で覚えました。中国語は英語と違って、中学や高校でまったく勉強したことがない言語なので、かなり大変でした。お客様とのコミュニケーションは通訳がありますが、やはり通訳を通すと、細かいニュアンスや好みなどが伝わってこないため、一度仕上がってから、「違う!!」みたいなことは多々ありました。自分のお客様と直に話せば、もっと確実なイメージがお互い伝わりやすいので、今はなるべく自分で話すように心がけています。

A3 私のお店は70%が日本人のお客様、その他が中国系（台湾、香港、上海）のお客様で、私個人としては、白人の方も多いです。日本人はもちろん、中国人の方も、日本人経営の美容室に来ているので、やはり、日本のスタイルが人気ですね。中国人のお客様は、日本の雑誌を持参されたりもします。日中のお客様問わず、ボブラインのパーマスタイルが人気で、ロングのパーマスタイル人気も根強いです。ここ数年でパーマ比率がかなり上がり、最近はパーマとカラーがほぼ同じくらいの確率でオーダーされます。上海は水質が悪く、髪の毛のダメージが問題になっているので、カラーは植物性カラーを提案しています。パーマでは、巻き髪風より自然なミックスウェーブ、カラリングは、上海の水だと褪色しやすいため、落ち着いた風合いのチョコレートブラウンやカッパーバイオレットブラウンなどを提案しています。

A4 私自身、海外3か国で働いて思ったのは、日本人は本当に細かいテクニックや、論理的なカットテクニックをたくさん練習の中で備えているということです。私の「これだけは負けない!」は、いろんな国の方々の髪を触ってきたので、カットの幅の広さでしょうか。髪質の違いは同じアジア人でも本当に違います。しかし、やはりそれはベーシックを日本でしっかり学んだからこそ、理解できたことだと思います。セールスポイントは海外生活が長いので、語学力、あとはそれぞれの国の流行、好みの違いに対する理解力でしょうか。



サロンは3階建てで、これはメインフロアの営業風景。



モダンチャイナをイメージして撮影した作品のひとつ。



2008年中国ロレアルのカラートロフィーでの特別賞 (ESTETICA award) 受賞作品です。ESTETICAは世界各国で発売されている美容雑誌で、この写真は、その中国版で表紙を飾りました。

Question

- 1 海外で働こうと思ったきっかけと、現在生活している国を選んだ理由は何ですか? また、今のサロンに入店（あるいは出店）するまでの経緯を教えてください。
- 2 現地の言葉はどうやって学びましたか? また、スタッフ間やお客様とのコミュニケーションにおいて、今までどんな苦労や失敗がありましたか?
- 3 サロンではどのようなヘアスタイルが人気ですか? カラーやパーマを含め、最近よく提案しているスタイルについて教えてください。
- 4 日本人美容師として「これだけは負けない!」というテクニックやセールスポイントは?
- 5 サロンワークをしている中で一番嬉しかったこと、そのエピソードについて教えてください。
- 6 日本を出たことで自分自身にどのような変化がありましたか?
- 7 今後の目標と、海外を目指す日本の美容師さんたちにアドバイスをお願いします。

A5 シンガポールのお客様が、今でも上海まで髪を切りに来てくださったり、上海以外の地方からも飛行機で来てくださるお客様がいることは本当に嬉しいです。それと最近、ニューヨークから上海に引っ越して来た方で、以前、日本人の美容師さんにカットしてもらっていたというお客様が来店されました。その方が言うには「上海にいる美容師さんを紹介してもらったけど、名前を忘れてしまった」とのこと。たまたまこのお店に髪を切りに来て、私が担当したのですが、そのニューヨークの美容師さんの名前を聞いてびっくり! 私の友達だったのです (笑)。「その紹介された美容師、きっと私です」と言って、2人で「世界は狭いね」と笑いました。

A6 初めて海外に出たのが9年前ですが、いろいろな意味でとても強くなったと思います。シンガポール時代に、突然大勢の前でカットやパーマのセミナーを、一人で、しかも英語でやらされた時は泣きそうでした。でもそれも、1回、2回、3回と回数を重ねていくうちにだんだんうまくなって、今では全然問題ありません。それは、英語がうまくなったのではなく、自信がついたからです。ここ上海でも同様です。言葉の壁は常にありますが、態度に自信が多く現れていけば、見ている人たちも納得します。海外では泣いていても誰も助けってくれません。自分を信じること、そして自分をうまく売り込むこと、行動力、これが自分の変わった点だと思います。

A7 上海に出店してから3年が過ぎました。来年は2店舗目、それからスバの出店も考えています。上海に住んでいる若者の多くは、3か国語以上話せたり（会話程度）、インターナショナルな街だからこそですが、白人が流暢な中国語を話したり、中国人がドイツ語を話したり、日本にいた時にはなかった、グローバルという波を感じます。そして、国境も宗教もみんな何でもありで、その中で自分というものを見つけられるんじゃないかと思っています。

Local Information

●現地で生活する人ならではの おすすめスポットをご紹介します!

[LT] という、アジア（香港系）で有名なセレクトショップ。「Chloe」[MARC JACOBS]「COMME des GARÇONS」[TSUMORI CHISATO] など、30種類以上のブランドが勢ぞろいのショップです。



●木曾清美（きそきよみ）/1977年千葉県出身。窪田理容美容専門学校卒行後、都内1店舗を経て1997年渡米。1999年『Mod's hair 南青山店』、2003年シンガポールを経て、2005年上海に。